

學小  
唱  
歌  
集

第二編

60

65

70

75

80

85



子孫部 卷之二

教育部音樂取調掛  
編纂

# 唱歌集

第二編

小學師範學校中學教科用書



## 唱歌集第二編

### 目次

鳥の聲

霞う雲う

年たつ今朝

かすめら空

燕

鏡なす

岩もる水

岸の櫻

小曲大集 一編 目次

### 拍名表

Musical notation for '拍名表' (Rhythm Table) consisting of 14 staves. The notation includes rhythmic patterns with notes and rests, often with a '4' above the staff indicating a 4-beat measure. Some staves feature triplets, indicated by a '3' above a group of notes. The notes are labeled with hiragana characters: タ, テ, ト, ツ, タエ, オ, タエオウ, タラテレト, ロツル, タテレト, ツル, タダラナテレト, タサガ, テセゼ, トソゾ, ツスズ.

遊獵

涼谷の奥

皇御國

紫ゆく流代

五月の風

天津日嗣

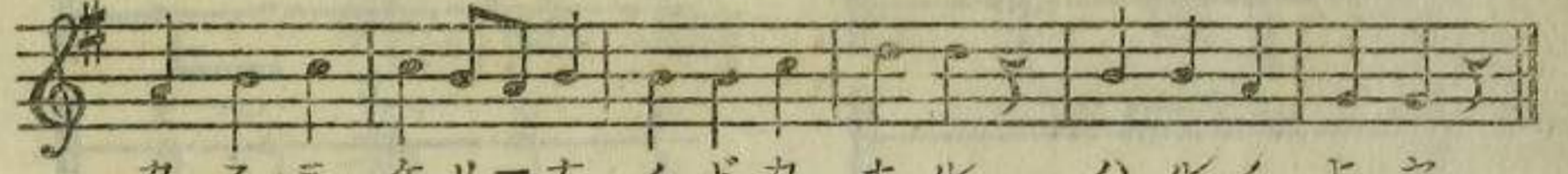
太平の曲

御寺の鐘の音

第三十四



1 トリノ コエ キギノ ハナ ノベニ ミチ一テ  
2 むしの こゑ つゆの たま の 産に みち一て



カ ス ミ ケ リ ナ ノ ド カ ナ ル ハ ル ノ ヒ ヤ  
ゆ べ モ ヲ ヲ れ ズ き よ ら な る つ き の よ や

第三十五



1 カノ カノ カノ カノ カノ カノ カノ カノ カノ カノ  
2 カノ カノ カノ カノ カノ カノ カノ カノ カノ カノ



ソノ カノ カノ カノ カノ カノ カノ カノ カノ カノ カノ

第三十四 鳥の歌

一 鳥の歌。木の花。野をよみまわつて。  
二 鳥の歌。木の葉。野をよみまわつて。  
三 鳥の歌。木の葉。野をよみまわつて。

第三十五 鳥の歌

一 鳥の歌。木の葉。野をよみまわつて。  
二 鳥の歌。木の葉。野をよみまわつて。  
三 鳥の歌。木の葉。野をよみまわつて。

第三十六

トクノヤ シノヤマ タノハシ ツキハ  
 ノノヤ ニナニ ギンギン ハニシ  
 ミヨヤ ヤノヤ コノヤ ナノヤ  
 リウ ターウ タヒツハ ゴツキーカ ハシツコ  
 コロゴコロ ローニ ウーチツーレ ダチテ  
 コロゴコロ ローニ ウーチツーレ ダチテ

第三十六 年につけさ

一  
 としあつけさの。それよだもひそ。  
 えやこもひそま。なごもたわく。  
 穂影うひつ。眼子つれかほつ。  
 こころづ。うちつきごらて。  
 かこもあも。あそびゆるちり。  
 都もあも。あそびゆるちり。

ニ  
 のごけき春。はやちやめまば。  
 わつたをいれ。よつらちめく。  
 はく花かごつ。ちくちきさつ。  
 こころづ。うちつきごらて。  
 やまぶ小野道。あそびゆるちり。  
 山道に野道。あそびゆるちり。

同續

子代なごのげきもの。月をらぬれば。まごののらや。なごてちゆく。ちゆくははちまはた。ねまかぶく。氣とらふら。かぎにけりて。あごの代いさへ。は子代さちんを。

三  
 秋風きむく。身にぞ。すむし。松を。ちのた。わきら。まは。道。

四  
 子代なごのげきもの。月をらぬれば。まごののらや。なごてちゆく。ちゆくははちまはた。ねまかぶく。氣とらふら。かぎにけりて。あごの代いさへ。は子代さちんを。

同續き

三

秋風きむく。身にぞ。すむし。松を。ちのた。わきら。まは。道。

四

子代なごのげきもの。月をらぬれば。まごののらや。なごてちゆく。ちゆくははちまはた。ねまかぶく。氣とらふら。かぎにけりて。あごの代いさへ。は子代さちんを。



第三十七

1 カ フ メ ル ソ ラ ニ ア フ フ レ バ  
 2 や ま の は は れ て つ き き ん ぐ

ク サ キ モ ト モ ニ ウ ル ホ ヒ ヌ シ  
 ち ヤ ど の ら ま も の ら れ な し

ワ ラ ヘ ル ハ ナ ニ ホ ヘ ル ヤ マ  
 き ら め く つ 一 ゆ な へ なる む し

タ グ ヒ ナ ノ ナ ガ メ カ ナ  
 た ぐ ひ な の あ き の ろ や

第三十七 かきめり

一 かすめるそらふ。おほふまき。  
 そよあそとまに。うるほひぬ。  
 こらへるはな。ふほへるやま。  
 類<sup>かき</sup>の。たうりぬ。

二 山の端をまき。つきほく。  
 たらぬのくま。かきめり。  
 きらめく。手ぬ。なくちる。む。  
 たらひらぬ。秋のまや。

第三十八

1 コヨヤコヨ ヤコヨ ツバクーラ メーオ ヤモヒ  
 2 きなけ きな けやま 不どと一ぎ ナー われもひ

ナモ ヒ子モス-カ タリタノシ ミシリノ スライ-デ テトホキ  
 とも よはよも-す ぐらい 林も せずみや まをい-でて みや

クニベ ニタチ ワカルト モー カヘリ コヨヤ  
 のそら になけ 不どと一ぎ ナー 女のれ なのれ

ワガヤドニ- カヘリ コヨヤ ツバクラメー  
 あやどに- きなけ きなけ 不どとぎ ナー

第三十八 燕ツバク

一  
 こよや。こよ。はな。くら。え。  
 おや。ひ。も。ひ。も。ま。か。り。  
 こよ。み。その。巢。を。い。で。  
 と。き。團。造。み。ゆ。ち。わ。つ。ま。み。  
 深。り。ま。ら。や。あ。や。や。り。  
 う。へ。り。こ。ら。や。つ。ま。ら。め。

二  
 きなけ。きなけ。や。ま。な。ら。ま。  
 あ。や。ひ。も。あ。は。よ。を。す。ま。り。  
 い。ね。も。せ。ず。深。山。を。い。で。  
 都。は。そ。ら。ふ。ち。か。ら。さ。り。だ。す。  
 な。け。あ。ら。あ。や。や。り。  
 き。な。け。な。ら。ま。

第三十九

一カガエナース ミヅモミドリノカゲウツル ヤナギノイトノ  
 二ふるゆきーに きとまの みーちも うきれけま みやまのおくの  
 エダヲタレ キハレーテハカゼシンリウノ カーミヲ  
 ゆふまぐれ あせせるあきはあ げもーなーき つーきを  
 ケヅリコホリキエテハナニキウタイノヒゲヲアラフトカヤ  
 やどしになたるしはにはあーをらぎるーはなをたをちさのや  
 ゲニオモシロノケシキヤナゲニオモシロノケシキヤナ  
 げにおもしろのけしきや なげにおもしろのけしきや

第三十九 鏡ちりす

一 かがみちりす。水色こぼるの。かげ  
 うつる。柳の緑の。枝をたぎ。  
 雪舞てハ。風新柳の髪を梳り。  
 氷流てハ。浪舊苔の髪を洗るや。  
 おふれもーろの。景を。やま。  
 かがみちりすの。けーたやま。

二

降りる雪小。燕まじり。こらるるも  
 みる。の。こぼる。の。おくら。たやまぐき。  
 うけさる。笠。ハ。新。な。あ。月。を。や。ぎ。  
 撫。つ。る。葉。ま。か。さ。し。ら。の。花。を。た。ぎ。ら。る。や。  
 げ。ろ。お。り。る。の。あ。ー。た。や。れ。  
 が。小。ね。ろ。の。景。を。や。ま。

第四十

イ ア ハ ナ モ オ ル モ シ ツ ロ ノ  
 マ コ ツ ヨ フ ヒ ク ノ カ ツ ゼ キ モ ヤ  
 シ ユ ラ ベ フ ソ フ ル  
 ツ ク マ モ ゴ キ ト リ ノ モ チ ナ ヤ シ

第四十 岩いのの水

いはりの水みづを。松まつの風かぜを。

あはれなる水みづを。春はるの音ねを。

あはれなる水みづを。あはれなる水みづを。

あはれなる水みづを。あはれなる水みづを。

第四十一

1 キ シノサクラノ ハナサクサカリハ ミツソコニモ シ  
 2 あ きのみなみの き やけきつ きよは みづのそこにも し

ラクモカ カンリス ミダノカ ハーノカ ハノセク ダーシコ  
 らたましづめで すみだのあ はーのあ はのせの 不ーし

グーヤヲ ブー子ハ ナニウカレー テク モニサヲネー シ カ  
 ぐーやを ぶー絲つ きに うられー て きをのしづくーの ひ

スニナ ガシテ コグヤクモキー ニ カスニノウミーニ  
 めでなき なら ま たましうたーま しらたままた 一ま

第四十一 岸の櫻

一 岸の櫻も。さかきくはるるら。  
 水のそよぐを。白くかきり。  
 すみぢのりも。もれせし。  
 漕やをぶゆ。たよるかき。  
 舟もさかき。あつちかきて。  
 こぐやもあつち。かすみの海へ。

二 秋のゆれも。さやけは。あつち。  
 水もそよぐ。白く。づり。  
 海田の川も。うはれ。あつち。  
 こぐやも。あつち。あつち。  
 棹も。あつち。あつち。  
 まも。あつち。あつち。

第百一

1 ナガラ ヤ マ モ ク ツ ル バ カ リ ニ ラ  
 2 しげの う ま に し づ く ら お き て あ

ノヘニトヨムヤダマノヒビキカ  
 づせのまゆみてにとモーレばミカ

ミテフトラモテドリニシツツイ  
 のでたたすはますらをなれやみ

サニ一イサ一ムマ スラ フ ノ ト モ  
 のミた一たせ一るそ の い き ま し ぎ

第四十二 遊獵

一 さねのうら山くげらげらり。  
 をのへにとよむ。矢まのひき。  
 津てふ所も。てどまにり。  
 いきみふいさむ。まきら旗の渡。

二 葦毛の馬り。志げ鞍あて。  
 あづきの真ら。もにまを志り。  
 みつたすま。まけくまわれや。  
 矢獵くまを。それい。

第四十二

1 ミーダニノオーグーノハナートリーアハレウー  
 2 たーぞのーいー社ーのゆふーあせーあはれよー

グーマーグーグモノカグハシノヨヤタ  
 せームーるーなみのにきはしのよやゆ

ノーシキハールニアフサカヤマノイー  
 たーけきあーきにあふさあやまのいー

ハ子ニーヨーセーテキミガヨーウタへ  
 は不にーよーせーてきみぎよーいはる

第四十三 みたらの桑

一  
 うづまへみ。はーのよね。  
 みたらの桑。あたま。  
 うづまへみ。はーのよね。

二  
 みたらの桑の橋。ゆふ風あたま。  
 よせくら浪のよだりーのうね。  
 ゆけれた秋。あたま。  
 寝ては。あたま。

第四十四

1 2

ス メ ラ ミ ク ニ ノ モ ノ ノ フ ハ  
 す め ら み く に の を の こ ろ は

イ カ ナ ル コ ト ヲ カ ツ ト ム ベ キ  
 た わ ま ず を き ぬ こ こ ろ も て

タ タ ミ ニ モ テ ル マ ゴ コ ロ ヲ  
 よ の な ぞ は ひ を つ と め な し

キ ミ ト オ ヤ ト ニ ツ ク ス マ デ  
 く に と だ み と を と ま す ぞ し

第四十四 皇御國

一 すめらみくにのそのくぬを。  
 いづれの事をものほむべき。  
 むら身よもてる。まむらるを。  
 君と歎とふ。つらすまで。

二 皇御國をのこらる。  
 たあまぎをきぬ。こころりて。  
 世のありはひを。つらあち。  
 くにや民を。いよまはす。



第四十五

1サ カユク ミヨニ ウマレシ モーオ モヘバカニメ グニナ リ  
 2め ぐみも ふみき めみぎきのーみ まなの ぎみきと てもちて

イザヤ コ ラ カニメ グニヲユ メナワス レソユ メナワス レソユ  
 ちはやぶ ゐみのみまなにう たひまは ましう たひまは ましう

メナワス レソト キノマ モ イザヤ コ ラ カニメ グニヲユ  
 たひまは ましよ もすぢら ちはやぶ ゐみのみまなにう

メナワス レソユ メナワス レソユ メナワス レソト キノマ モ  
 たひまは ましう たひまは ましう たひまは ましよ もすぢら

第四十五 紫行く法代

一  
 ちのつへく法代る。ちのつへく法代る。  
 神のまへに。神のまへに。神のまへに。  
 ちのつへく法代る。ちのつへく法代る。  
 神のまへに。神のまへに。神のまへに。  
 ちのつへく法代る。ちのつへく法代る。  
 神のまへに。神のまへに。神のまへに。

二 恵を源きかみ

二 恵を源きかみ。恵を源きかみ。恵を源きかみ。  
 神のまへに。神のまへに。神のまへに。  
 ちのつへく法代る。ちのつへく法代る。  
 神のまへに。神のまへに。神のまへに。  
 ちのつへく法代る。ちのつへく法代る。  
 神のまへに。神のまへに。神のまへに。

第四六

1 イ ツ カ ノ カ ゼ モ ト フ カ ノ ア メ モ  
 2 ど よ あ レ は ら の み づ ね の く に は

ト キ ニ シ タ ガ フ ワ ガ キ ミ ガ ヨ ヤ ニ  
 ち よ ぶ ろ づ よ も う ご き な き く に 一 わ

シ ノ ク ニ ヨ リ コ マ ク ダ ラ ヨ リ ヨ  
 の き み の よ 一 は ち よ よ ろ づ よ も 一 う

リ ク ル ヒ ト モ ミ ヨ イ ハ フ ナ リ  
 ど き な き み 一 よ い 一 は 五 も ろ び ど 一

第四十六 五日の風

いつの風も。とまのるるも。  
 時々。あつた。きみ。の。せや。  
 一の國より。さ。霖。百。濟。より。  
 さあ。くる。人も。活。代。い。も。あ。り。  
 二 幽。き。ある。あ。の。こ。の。極。め。く。た。ら。も。  
 くら。ぶ。う。ら。づ。せ。ん。う。ぶ。れ。ち。さ。て。國。  
 あ。の。天。の。代。も。こ。の。よ。は。び。づ。代。も。  
 ち。き。れ。き。活。代。い。も。あ。り。人。

第四十七

1 ア マ ツ ヒ ツ ギ ー ノ 三 サ カ  
2 あ し ー は ー う ー の ち い 不

エ ハ ア メ ツ チ ノ ム タ キ ハ  
あ き み づ の く ー ー に は ひ の

ミ ナ シ ワ ガ ヒ ノ モ ト ノ ミ ビ カ リ  
み こ の き ー み と ま だ き ど こ ろ ぞ

ハ ツ キ ヒ ト ト モ ニ カ ガ ヤ カ シ  
と ら ー み の み よ ぞ き だ ま れ マ

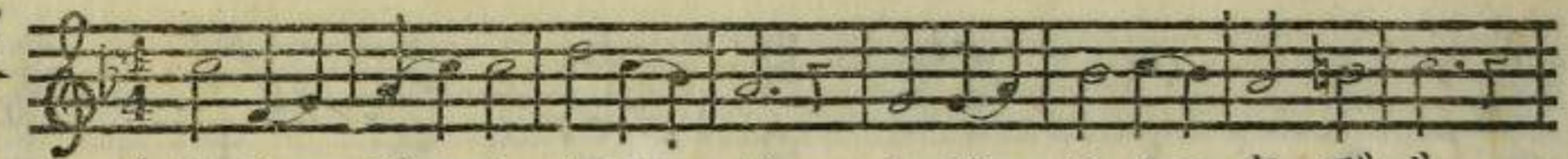
第四十七 天津日嗣

一 あまらう日はさのみにけつえん。  
あえつらの共さけはらけ。

わがひのりやえ。みひうりち。  
月日とらふ。うらやうん。

一 葦原のちいほらふ。瑞穂  
の~~~~。日の流子の。  
さみかともすべき。~~~~。つぞれ。  
ゆの~~~~。はらわれり。

第四十八



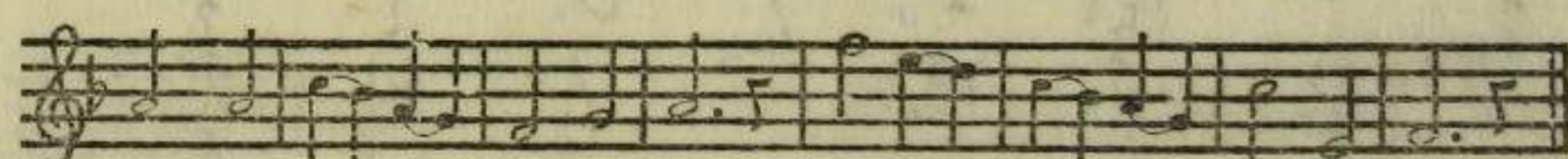
1 ユハーザーノサワーギ トブービノーケブリ  
2 たひーらーのみやーと ももーしきーのみや



イツーシカータエーテ ラサマールーミヨハ  
みあーとにーなしーて むぎしーのーらトド



アメーツーチーサヘモ トドーロクーバカーリ  
しブーホーマーましぬ どしーはみーちぞーせ



ヨロヅーヨーマデト キミーガーヨーイハへ  
よはもーもーはたち みいーぎーをーあふげ

第四十八 太平の曲

一 ゆまづのさむぎ。花々のけぶり。

いつうもえて。せうまうの世は。

あふんはさへ。さうらぐらう。

あ代まで。老の代いは。

二 ふひらのまや。百敷の宮。

あふふれ。て。むさの國。

あつまるは。ぬ。年ハ三千とせ。

代ハ百二十。功績あつげ。

第四十九

1. 一 二 三 四 五 六 七 八。 二 月 影 うつろ した。 霧 は け へ じ り。 わ ち や の 鐘 の ひ。 秋 ふ ひ じ り。 一 二 三 四 五 六 七 八。 三 漁 や 志 あり て。 霧 と ふ じ り。 姑 蘇 城 あり。 鐘 を き こ へ。 一 二 三 四 五 六 七 八。

2. 一 二 三 四 五 六 七 八。 二 月 影 うつろ した。 霧 は け へ じ り。 わ ち や の 鐘 の ひ。 秋 ふ ひ じ り。 一 二 三 四 五 六 七 八。 三 漁 や 志 あり て。 霧 と ふ じ り。 姑 蘇 城 あり。 鐘 を き こ へ。 一 二 三 四 五 六 七 八。

3. 一 二 三 四 五 六 七 八。

第四十九 一 二 三 四 五 六 七 八

一 一 二 三 四 五 六 七 八。 二 月 影 うつろ した。 霧 は け へ じ り。 わ ち や の 鐘 の ひ。 秋 ふ ひ じ り。 一 二 三 四 五 六 七 八。 三 漁 や 志 あり て。 霧 と ふ じ り。 姑 蘇 城 あり。 鐘 を き こ へ。 一 二 三 四 五 六 七 八。

二 月 影 うつろ した。 霧 は け へ じ り。 わ ち や の 鐘 の ひ。 秋 ふ ひ じ り。 一 二 三 四 五 六 七 八。 三 漁 や 志 あり て。 霧 と ふ じ り。 姑 蘇 城 あり。 鐘 を き こ へ。 一 二 三 四 五 六 七 八。

三 漁 や 志 あり て。 霧 と ふ じ り。 姑 蘇 城 あり。 鐘 を き こ へ。 一 二 三 四 五 六 七 八。

一 二 三 四 五 六 七 八。

明治十六年三月二十八日出版屆  
同十八年五月再版

東京音樂學校藏版

定價金六錢

箏曲集 上製 定價金七拾五錢

全 並製 定價金三拾八錢

音樂問答 全一册 定價金三拾七錢

樂典 全一册 定價金壹圓拾五錢

音樂指南 全一册 定價金四拾八錢

幼稚園唱歌集 全一册 定價金 八 錢

唱歌掛圖 全二篇  
初篇定價金壹圓五拾五錢  
續篇定價金壹圓〇五錢  
二篇定價金壹圓五拾錢

中等唱歌集 全一册 定價金貳拾貳錢